

事務事業名	市長への手紙事業		所属部局	秘書課	単位番号	1012				
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	秘書課	課長名	中村 博明				
			所属担当	広聴広報担当	担当者名	深澤 貴子				
基本政策	I	情報と連携の都市づくり	予算科目	会計 01	名称 一般	款 02	項 01	目 03	細目 010	細々目 01
政策	03	市民参加システムの構築	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
施策	05	市政への直接参加システムの構築								
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H15 年度) 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		法令根拠	南アルプス市市長への手紙処理要領						
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 市長宛に手紙または市のホームページから市民の率直な意見をいただき、市長が市の考えを回答し、意見・提言・要望を市政に反映させていく。 市内の公共施設等(44箇所)に便箋・封筒を設置。			事業費の主な内訳 (25年度 決算見込) 項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円) 印刷製本費 通信運搬費 2 計 2						

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	25年度活動実績：専用紙やメールでの受付 担当課に回答案作成依頼後、市長決裁を経て本人宛回答 26年度活動予定：専用紙やメールでの受付 担当課に回答案作成依頼後、市長決裁を経て本人宛回答	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 アイウ ア 寄せられた手紙の件数 件
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	市民及び市内に通勤、通学している人	⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない 名称 単位 アイウ ア 人口 人
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	市政運営に意見や要望が反映される	⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 アイウ ア 要望・意見・提言が反映されたと答えた人の割合 %
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	市政への関心、参加意欲を高め、協働のまちづくりに結びつける	⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 アイウ ア 市長への手紙制度が必要と感じている市民の割合 %

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	最終年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)
		国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	22	15	2	5	5	5	
		事業費計(A)	千円	22	15	2	5	5	5	0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	170	170	170	170	170	170	
		人件費計(B)	千円	774	774	774	774	774	774	0
		(A)+(B)	千円	796	789	776	779	779	779	0
		活動指標	アイウ 件	71.0	63.0	93.0	100.0	100.0	100.0	
		対象指標	アイウ 人	72,566.0	73,835.0	73,070.0	73,100.0	73,100.0	73,100.0	
		成果指標	アイウ %							
		上位成果指標	アイウ %							

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	市民のみなさんからの市政への意見・要望を気軽に寄せていただくため合併時から開始
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	HPでも市長の手紙を受け付けるようになり、紙ベースからwebでの受付が増加した。比較的若い世代からの提言も増えている。首長の市政にもよるが、提言を積極的に市政へ反映すれば、より多くの反響が現れる。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	特になし

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	専用便箋の印刷を外注から職員による印刷に変更し、経費削減
③ H 25年度に実施した改革改善の内容	特になし

事務事業名	市長への手紙事業	所属部	秘書課	所属課	秘書課
-------	----------	-----	-----	-----	-----

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 市民からの意見・提言・要望を受け市政に反映させることを目的としているので施策に結びついている。 市民が市政への関心を持って、参加して頂くことが、協働のまちづくりにつながる。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 意見等を施策に反映させながら市政を推進していくことは市の責務 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 市長に手軽に直接提言できることがよいのでは。特に苦情はない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 手紙の設置場所も適切であるし、ホームページからも送信できる。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 市民が、いつでも自由に直接市長に意見を言えるツールがなくなる <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 市民からの大きなクレームが予想されるため。市長の政治姿勢に反するため。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 手紙の着払い分の経費がかかっているのみ。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 提言等のあった事柄に対し、各課と連携を取りながら、効率的に行っているため、現状より事務処理の削減が図れないため。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 広報やHPでの周知。提出方法も郵送・メール・FAX・電話としている。 受益負担を求めるものではない。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	市民の意見を直接聞けるよい機会となっている。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成25年度																					
	成果優先度評価結果 ⑪ コスト削減優先度評価結果 ⑥																					